

Volume 20

April 2002

3

JAPAN REGION



目次

Table of Contents
Vol.20, No.3, April 2002

日本リージョン会長メッセージ	President's Message	1
ITC公式訪問者メッセージ	Message from the ITC Official Visitor	2
組織運営研究特別委員会からの提案	From Study of Organization Management	4
増設委員会	From Extension Committee	8
第20回日本リージョン年次大会ご案内	Invitation to the 20 th Japan Region Annual Conference	9
日本リージョン大会への派遣員の皆様	Notice to Delegates to Region	9
選挙委員会	From Election Committee	10
派遣員資格確認委員会	From Credentials Committee	10
運営研修会のお知らせ	Information about Council Management Training	11
リージョン大会での表彰について	Awards	11
第20期日本リージョン年次大会プログラム予定表	The 20 th Japan Region Annual Conference Program Plan	12
20周年記念プログラムの概要とお知らせ	Overview of the Commemorative Programs	13
準備委員会からのお知らせとお願い	From Annual Conference Committee	14
セレブレーションパーティ	Celebration Party	16
事務局通信	Japan Region Office Report	17
Hello! 役員会便り	Hello! News from Region Board	18
ITC世界大会へのお誘い	Invitation to ITC Convention	20
会員名簿訂正、編集スタッフより		21



会長挨拶

「海の碧」によせて

日本リージョン会長 泉 和子

地球環境の大きな観点から測ると、自然破壊は富みに進み、私達自らが住み難い世の中を作ってしまったいたり、又変革が叫ばれても、それが良いのかどうか解らないような複雑な昨今です。

ところで、ITCに籍を置かれる皆さまのITCの住み心地は如何なものなのかを今率直にお尋ねして見たく思います。

ITCに、時代に適応する為に変化が必要であると言われてから早や久しいとお思いになりませんか？もはや、そうした悠長なことは言っている時ではないと思います。それも机上での考案だけでは既に遅く、実践を持って行動を起こして変化せざるを得ない過渡期に入っています。私が日本リージョンの運営をお引き受けしてから約半期が経過しました。その渦中で会長としての出来る限りの技量で、わずかずつでも会員の皆様の変化を感じ取って下さるよう努力を続けておりますが、そのような最近のITCでの住み心地が、皆様にとって少しでも改善されていれうれしく思うのですが、如何なものでしょうか。

会員の皆様は、ITCに在籍することを生涯教育とみなしておられるか、または社会に貢献度を高めるための足がかりとして在籍しておられるか、それは人様々です。すべての会員のニーズにあった教育を提供することが難しいの、出来ないのと言っている場合ではありません。何が功を奏すかは解からないのですから事情の許す限り実践して見るのが先決だと思っています。

私達はどんな目的でITCに籍をおいても、基本であるコミュニケーションを欠かすことなく、大きな波を乗り越えて、変化に耐え、理想のITCを見つけなければならないのが今の課題であると思います。

6月に神戸で開催される年次大会では、20周年を記念して、「理想のITC」についてパネルディスカッションが行われることになっています。今後のITCの未来について、その場を通して皆様と話し合うことが出来ることは、有意義なことだと思います。

ITCに理想的な未来が訪れることを願って、紺碧の大海原に洋々と船をこぎ出す光景を思い描いて、大会のテーマを「海の碧」といたしました。20年来引き継がれたリージョンを皆さまの目で確かめて頂く意味でも、ぜひ大会にご参加くださり、その上で海の碧を感じ取って下されば幸いですと願っております。

President's Message

Thoughts on "Sapphire Blue of the Sea"

President of Japan Region Kazuko Izumi

From the vast standpoint of the earth's environment, it seems these days that we ourselves are making the world a difficult place to live in by destroying nature so rapidly. And social situations seem to have become so complicated as to make us uncertain whether reforms are good or bad even if they are clamored for loudly. In view of all this, I would like to frankly ask each of you how you feel about being a member of ITC.

Don't you think it is already a long time since changes in ITC were said to be necessary to meet the needs of the times? In my opinion, however, we can no longer take things so easy. We have entered a transition period when we cannot but change things through action, not by a mere desk plan. About half the term has passed since I took over the management of the Region, during which time I have made every effort as President to ensure that the members



feel that changes are taking place little by little. I will be very glad if recently you feel, at the very least, a little more comfortable to be a member of ITC.

Some members may regard ITC training as a lifelong education, while others may have chosen to be a member to gain a foothold in making more contribution to society. This is not the time to complain that it is difficult or impossible to provide education to fit the needs of all members. I think the first thing to do is take as many actions as circumstances permit, as there is no telling what will be given the credit for success. What matters for us now, I think, is that whatever our purpose for being a member, we have to pursue an ideal ITC by overcoming considerable difficulties and enduring changes while maintaining the communication which is so fundamental for us. At the Region Conference which is to be held in Kobe in June, there will be a panel discussion on "The Ideal ITC", in commemoration of the 20th anniversary. This will be a meaningful opportunity for us to discuss how the future should be for ITC.

Wishing for an ideal future for ITC, I have chosen "Sapphire Blue of the Sea" as the theme for the Conference, picturing in my mind the scene of a ship launching into the sapphire blue and boundless ocean. I would like you to take part in the Conference so that you confirm with your own eyes the tradition of the Region which has been handed down over the past 20 years, and I will be very pleased if you are inspired by the theme "Sapphire Blue of the Sea".

Message from Irene E. Johnson A.C. ITC President

Greetings to the members of Japan Region

I look forward to being the Official Visitor to your Region and anticipate meeting many of you in person this June.

I am currently retired from Civil Service where I worked for twenty-eight years. While working I was responsible for the implementation policy for the Strategic Arms Reduction Treaty, the Chemical Weapons Treaty and the Open Skies Treaty. This responsibility required me to do a lot of traveling and present many briefings to high-ranking officials within the United States Government.

I am married to Curtis Johnson and we have a blended family of eight children and seven grandchildren. I personally have four children and am very proud of their accomplishments. My oldest daughter is a physician, my son is a pilot for American Airlines, my second daughter is an attorney and my youngest daughter is training specialist who develops training manuals for lessons for new computer program systems.

AS the ITC President, I spend much time on the computer communicating with members around the world. I also dedicate a large portion of my time to the community where I live promoting ITC. It is a real honor to be the President of such a great organization and I have been afforded many opportunities to travel and share my expertise around the world.

AS I look back over my time in ITC, I can truly say that what I have enjoyed most about my ITC experience is the opportunities I have had to participate in the International Speech Contest. I have been fortunate enough to represent my region in the International Contest on four different occasions. While I have not won the speech contest, I have been in the finals twice and look forward to competing again once my tenure on the ITC Board is completed.

My husband and I love to travel and we love to take vacations on cruise ships. We have been on approximately six cruises since we retired and look forward to taking many more in the future. I would love to take a cruise to Alaska and plan to include that in my travel plans very soon. My favorite holiday is Christmas. I really love the season and decorate each room on my house. I collect African-American Santa Claus' and have approximately sixty that I place around the house each year. I am always on the lookout for new additions to my collection and look forward to displaying and enjoying them each year.

My favorite thing to do to relax is to read a good book. I love to curl up and enjoy a good suspense novel or a wonderful romance novel.

I hope this information gives you a little insight into me and I look forward to seeing you in June at the Japan Region Conference.



I T C 公式訪問者からのメッセージ

I T C 会長 アイリーン・ジョンソン

日本リージョン会員の皆様、こんにちは！

6月に開催されます日本リージョン年次大会の公式訪問者として、多くの会員の皆様に直接お会いできます事をとても楽しみにしています。

私は、現在、28年勤めたシビルサービスを退職いたしております。在職中は、戦略兵器削減条約、化学兵器禁止条約、並びに空中査察条約を実行に移すための政策の責任者でした。合衆国政府の高官へのブリーフィングのため、何度も、またあちらこちらへと出かけなければなりませんでした。

私は、カーティス・ジョンソンと結婚していて、子供8人と孫7人のブレンドファミリーです。私自身の子供は4人で、りっぱに成長した彼らをお大変誇りに思っています。長女は内科医、息子はアメリカン航空のパイロット、次女は弁護士、一番下の娘は新しいコンピューターシステムのトレーニングマニュアルを開発する専門家です。

I T C 会長として、私は世界中の会員とコンピューター上のコミュニケーションに多くの時間を使っています。また、私の住む地域で I T C を普及させることにも専念しています。このようなりっぱな組織の会長として、世界中を旅行し、私の専門知識を分かち合う機会を得られたことをとても名誉に思っています。

今までの I T C 活動を振り返ってみますと、私の経験中で最も楽しかったことは、なんと言っても、I T C 大会でのスピーチコンテストに参加したことです。それも、幸運なことに、私は、私のリージョンを代表して、4回もスピーチコンテストに参加できたのです。優勝したことはないのですが、2回決勝に進みました。I T C 役員の任期が完了したら、もう1度参加したいと思っています。

夫と私は旅行が大好きで、クルーズ船に乗って休暇を楽しんでいます。退職してから6回ぐらい楽しみましたし、これからはもっともっと、と思っています。私はクルーズでアラスカへ行きたくて、早く行けるよう、旅行プランに取り入れたいと計画しています。私の好きな休日はクリスマスです。本当に大好きで、家中の部屋に飾り付けをします。私はアフリカン-アメリカン(アフリカ系アメリカ人)のサンタクロースを集めていて、今60個ぐらいあり、毎年家に飾っています。コレクションに加えるための新しいサンタをいつも捜しています。毎年ディスプレイして楽しむのが本当に待ちきれないくらいです。

私のリラックスタイムは読書です。くつろぎながら、よくできたサスペンスやすてきな恋愛小説を読むのが大好きです。

以上、私のことが少しでもわかっていただけたら嬉しいです。6月の日本リージョン年次大会で皆様にお会いできる事を楽しみにしています。



組織運営研究特別委員会からの提言

— 21世紀にふさわしいITCをめざして—

委員長 桑原美紀子

昨年10月30日(火)に委員会を開きました。まず私が提案した4つの問題点(日本リージョン会報1号に掲載)について、各委員と討議してまとめております。

(1) 会員の高齢化と教育のマンネリ化(年齢差のギャップ)

各委員から、多くの会員が高齢化を問題にしていることに、かなりの反発があったとの報告を受けた。しかしこのことは、数年前より問題になっているテーマだが、誤解を招いている点もあるので、高齢化の問題点とは、年齢を理由に役職を拒否しない会員。人生の先輩として若い会員とともに学ぶ姿勢がある人以外の会員を言うとして説明して了解を得た。

ITCのよさは年齢を越えてともに学ぶ姿勢に意義があり、人間性を磨くことになるのではないのでしょうか。会員間に意識的な年齢差のないことが大切であると考えます。

(2) 地域社会との連携を唱えながら、全く各地域で評価されていない現状

上記に関しては小都市においては、マスコミが取り上げ、地域に入ってゆけるようだが、大都市ではITCの評価はゼロに等しい。もっと評価されて活動できる方法を考えるべきだとの提案があった。広報活動のあり方に一考を要するとの意見もあるので、今後は具体的な方法を考えてゆきたい。

(3) ITCを教育の場として考えるべきか、或いは楽しいグループ活動の場として考えてゆくべきか。

ITCは教育の場であると、各委員の認識は一致していた。しかし、クラブによっては会員の流通がなくクラブ歴が長くなるほど、すべてがマンネリ化して適当に処してゆく方向になっているとの批判をしながらも、具体策までには発展しなかったが、まず今までの教育のあり方、資料のあり方、マニュアルのあり方をもっと改善すべきであると意見がまとまった。

(4) もう少し日本リージョンを整理・統合して日本独自の活動母体にしてゆく方法はないものだろうか。

この問題は、当委員会が一番検討してゆかなくてはいけない問題である。委員長である私は、教育の問題も重要であるが、今改革すべきは組織のあり方、つまり大きくなりすぎた日本リージョンを如何に運営しやすい方向(つまり分割)に切り替えてゆくべきであるかを考えてゆきたかったが、多くの会員は分割には消極的であるとの報告を受けた。その理由の①役のまわりが早くなるので反対。②リージョンが小さくなると寂しいから反対。あまりに明快な理由に驚くとともに、大多数の会員には、自分には関係のないこと意識がある事実を知ることが出来た。従って(4)のテーマに関しては、長期目標に切り替え当委員会では日本リージョンの将来について、よく調査分析して、全会員がITC日本リージョンの現状と将来について積極的に参加を考えてゆける方向づけをすることに決定した。ただし長期とすると、そのまま立ち消えの危険があるので、2年くらいの間に結論がだせるよう委員会で調査する。従って短期目標としては、今一番問題になっているクラブレベルのすべての面におけるマンネリ化、つまり教育部門に工夫と努力がなされていないことを第一に取り上げることにした。いわゆるプログラムの活性化である。プログラムについては各委員から活発な意見が提出されたので、その問題を第2回の委員会では、深く発展させながら、役員会に提言してゆきたいと思う。

短期目標：教育の充実を計り、会員が地域に貢献できるようにする。

長期目標：日本リージョンの健全育成のために分割を考える。

上記のように、短期目標と長期目標を明確にして検討してゆくことを、第1回の委員会では話し合いました。

続いて委員8人の率直な提言を記載します。

教育部門の充実を

ITC会員は、毎回「世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います」と宣誓しています。日本リージョンもクラブの設立後50年余りも経過しており社会のニーズとして、コミュニケーションの重要性は更に高まっております。また会員の意識も大きく変化してきております。日本リージョンの今後の発展、社会的存在の意義から見ても、今こそすぐれたリーダーを養成して、社会に貢献できる人材を育成する必要があるのではないのでしょうか。

一方、カウンスル、リージョンレベルのリーダーには、各クラブのニーズに合わせた正しい教育ができる人材が求められております。そのためには、リーダーを育てることが急務です。

少々マンネリ化しているプログラムの活性化のためにも「プログラム専門委員会」を設置し、その委員会で充実したプログラムの作成、ITC活動の各部門における専門性をもったリーダー養成のための特別教育訓練のプログラム作りなどを検討し、提示してもらえればと考えております。今は会員の意識にも変化があり、よりよいそのニーズに合った教育を实践させてゆくことが大切だと思っております。
(高柳恭子)

会員の教育

リージョンの運営を改善する為には、会員の教育を改善する必要があります。自分の能力に自信がなければ、上部組織に携わる際、安心して任務を引き受けられないでしょう。それには、クラブレベルでのワークショップを実践する必要があります。他のリージョンで、或る時ワークショップのコンテストを行ったところ、クラブとカウンスルの両方で質の高いワークショップをするようになったということです。日本でも是非やってみるとよいと思います。ITCの“Train the Trainer”（指導者の養成プログラム）は、会員に指導者としての免許を与える為にできたもので、免許を得た者は今度は他の会員を指導します。その会員が免許を受けると、又次の会員を指導するようになり、雪だるま式にレベルアップの効果が期待できます。日本リージョンは、教育水準をもっと高め、それを維持していくことが緊急に必要だと思います。ITC内でその教育を活用するばかりではなく、対外的にも役に立つ教育を身につけるべきです。

日本リージョンは今分割を考えていますが、地理的に分割することはもはや時代遅れです。これは殆ど無意味で、もたらすものはあまりありません。上記のコースを新しいリージョンの誕生と関連付けて見ることも可能かもしれません。つまり、或るリージョンはスピーチを専門にし、別のリージョンは組織作りのノウハウに重点を置くと言う風に。そして会員はどのリージョンにも出席できるようにする、言わば境界線の無いリージョンということです。

このようなコースや資料を作る時は、日本リージョンは独自の教育資料を作成するのが良いでしょう。多くの会員が自分の能力を提供すると思いますが、専門家に依頼することも良いでしょう。
(Anne Issott)

会員の質の向上について

組織の発展や改革を考えると、私達会員一人一人がITCへの関わり方を問いただして見なければなりません。

それぞれの目的を持ってITCに入会した会員は、マニュアルを勉強し、経験者の方に教えて頂いて自分に与えられた役割に取り組みます。そして一年間で任務を終わり、また元に戻って異なった役割を一から経験すると言うことを繰り返しています。そして一応当初の目的が達成されても、その後も辞めずに継続している会員（私も継続は力なりと思っています。）を中心に、クラブは安定し和気藹々と例会を楽しんでいるというクラブが多いように思います。しかしずっとこのままで良いのでしょうか。会員は“ITC本来の理念は何か”ということを再認識すると共にこの組織を次の世代に繋いでいくことを考えねばならないときが来ているようです。今のまま楽しくやっているだけでは組織もクラブもやがて弱って行くと思います。

会員にはもっと学びたい、教えて欲しいと言う声が多くあります。マニュアルや教育資料に頼って行う教育では満足しないということで、より高度なものを追求し始めたのではないかと思います。ITCには先生という人はいませんので、会員の中から会員を教育できる人を育てる事が必要だと思います。（教え魔的な人は困ります）指導できる能力のある会員は多数あるでしょうが、システム化するのには簡単な事ではありません。でも今後意見を集めて研究して行けば実行可能な課題だと思います。

私達は今までどうり与えられたことをやるだけではなく、目標を高い所において社会に通用するコミュニケーション技術を磨いて行きましょう。
(児玉照江)

日本リージョン独自のプランニング

世界のITCの中で、日本リージョンは最多会員保有国です。日本の社会に適し会員のニーズに合った、日本独自のプログラムを提供して、そろそろ自立を考えてもよいのではないのでしょうか。

ここ数年間、時代に対応出来る新しい教育プログラムは作られていません。勿論、従来の資料は十分に価値あるもの、クラブにもカウンスルにも必要の高い教育プログラムだと思っています。

クラブは個人が学ぶ所、そのクラブを援助し、指導するのはカウンスル…とは周知の通り。しかし、カウンスルによっては同一条件ではありません。遠隔地クラブを多数抱えているカウンスルでは、出席者が限られますし、提供する教育プログラムにも限界があります。学ぶ側にとっても受動的傾向や、マンネリ化にもつながりかねません。従って分割の問題も生じてきます。



時代と共に多くの会員がインターネットの必要性を感じ、挑戦しています。そこには多くの情報や、アイデアが発見出来ると聞いています。しかし、ネット上での情報収集はなかなか難しいものです。特に翻訳は誰にでも出来るものではありません。

そこで新しい時代、会員のニーズに応じた“教育プランニング委員会”のような機関を作るのは如何でしょうか。

企 画……本部資料の見直し、教育プログラムの収集 提 供……引き出し作成、広報

管 理……クラブ・カウンスル間プログラム交流部門 情報ライブラリー……役を受けた人が、簡単に参考資料が

これらをリージョンのホームページ上に作り、記号わけの引き出しをつけます。 得られる

各自のニーズにあった引き出しから、プログラムを自由に引き出し活用出来たらと思うのです。プログラム提供に加えて活用指導があれば、更に会員の質の向上に、会員の意識の向上に役立つのではないのでしょうか。 (黒瀬真紗子)

ITC日本リージョンの教育機関をつくる

時代の流れと共に会員の求めるITCの教育・プログラムが少しずつ変化してきています。私達は、随分以前に発行されたITCの教育資料を、昔のままで現在も活用しています。IT化が進む現代社会に鑑み、ITC本部から発行されている従来の教育資料に加え、新たに日本リージョン独自の最新の教育・プログラムを提供できないだろうかと考えてみました。

例えば、カウンスルやクラブで取り入れた魅力あるプログラムを他のカウンスルやクラブにも配布する。また、ITCに適した教育・プログラムをインターネットで検索し情報を提供する。インターネット上には最新のワークショップが満載です。収集した教育資料やプログラムの配布は、そのウェブサイトのURLをリージョンのホームページに掲載することで、各カウンスルやクラブはURLをクリックするだけで最新の教育資料を瞬時に入手することができます。マンネリ化防止のためにも、退屈で時代遅れの教育やプログラムにならないよう、新時代に求められる魅力ある資料の提供機関として、教育研究委員会を設置するのはどうでしょうか。このシステムの確立は、きっと会員の興味を引くプログラムの提供に寄与できるのではないかと思います。

カウンスルNo.5のホームページには、今期クラブ間の教育・プログラム交流のページとして、各クラブで取り上げた推奨教育・プログラムを公開しています。ウェブサイトから自由に自分達のクラブに取り入れ活用することができます。一つのカウンスルの情報に留まらず、日本リージョンのホームページで他カウンスルの推奨プログラムも利用できるようなれば、カウンスルやクラブの教育・プログラムがもっと充実するのではないのでしょうか。

また、ITCは出来るだけたくさんの会員がいろいろなことを経験できるよう、役職を一年で総入れ替えするシステムになっています。このことが一つのことを深く学ぶことを希望する会員にとって、現状のITCではその要求を満たす事が出来ません。希望する会員のために、カリキュラムを組み、それに挑戦できる制度を取り入れることができれば会員のレベルアップに繋がり、将来プロフェッショナルな人材の育成に役立つと思われます。教育の二極分化にはならないよう配慮は必要ですが、車の車輪のように、ITC歴の古い会員と新入会員の向上を図る教育・プログラムの提供が必要な時期にきているように感じます。何年在籍していても学ぶことが尽きないITCであることが、将来ますますの発展に繋がるような気がします。 (坂口正子)

新しいITCのあり方

ITCも1つのパターンのみ展開では、全員が魅力を持てるような教育機関であることは難しくなっています。教育機関としてクラブ、カウンスル、リージョンの役割をもう一度考えなおす時期にきているのではないのでしょうか。

そこで提案ですが、【クラブはITCの4つの目的の基本的な訓練と実践をする場所と考えメンバーの望む自由で多様性に富んだ運営をすること】

① 楽しいグループ活動を目的としたクラブ ② 教育訓練の場を目的としたクラブ ③ ①と②を混合したクラブ
メンバーはその年の状況によって自由に移籍することができる。

【カウンスルは、クラブの援助と多様な教育を提供する場所と考え、その運営に携わる者は既に組織運営についての知識は持っている者】そして、【リージョンは対外的な渉外広報と国内の事務処理をする場所と考える】

主にITC本部と日本リージョンの各クラブとの連絡(主張・要望を伝える)力を入れる、つまり世界に向かって活動することが大切だと考えます。また、ITCを外へアピールする機関としての役割とPREMとしての活動に集中することも重要な役割です。

これからのITCは、様々な魅力を持ったメンバーがいて、クラブがあり、お互いが刺激しあいながら、もっと広く大きな可能性を持った教育機関として存在していくならば将来はきっと明るいと思います。(中須智子)

会員の質の向上について思うこと

教育のマンネリ化を防ぎ、魅力的なプログラム作りをする為に、どのクラブも大変努力をしていると思います。長期計画にもとづく教育とトレーニングを繰り返して、毎年のプログラムに挑戦しているうちに、自然に基本が身についている自分を、私たちは発見しています。カウンスルでは、クラブで応用できるプログラムをと考えて毎年努力しています。講師による特別ワークショップ以外に、コーラー訪問によって発見した各クラブの個性的で魅力のあるプログラムを他のクラブに紹介し、またなるべく多くの会員に発表の場を与える機会を提供する為に、ミニワークショップを行ったりしています。

- ①現在の教育水準を維持し高めて行くために更に進んだ教育資料を作って欲しいということです。日本リージョン独自の教育資料が必要であると思います。日本リージョンが力のある今こそ、日本におけるITCの将来のために考えて頂きたいと思います。
- ②次にリージョン大会でのワークショップに、各カウンスルで良かったものを出して貰い、おたがいに交換しあうのもよいと思います。
- ③カウンスルの講師として指導して頂ける会員のリストがあればと思います。(加藤久美子)

英語クラブの今後について

現状1. 最近日本でも英語によるコミュニケーションの必要性が増え、一般社会(特にインターネット等)でも必要となってきた。クラブの見学者や入会者は、(サンデークラブの場合)大学生から勤労者、そして定年を迎えた人まで男女の幅広い層にわたっている。一般社会の必要性に応えられるITCのあり方を工夫する時代になっている。

現状2. 日本リージョンには5つのカウンスルに、9の英語クラブと1のバイリンガルクラブがある。今までカウンスルやリージョンでは、英語クラブ特有の問題を話し合ったり上級レベルでの英語による訓練はほとんど出来なかった。英語クラブが共通して持っている悩みやPRの方法、アイデア交換などをリージョン大会でできる事が出来たら、お互いに学び合う事が出来る。

- 現状3. 英語クラブ在籍の日本人会員の中には二つの意見がある。
- A) カウンスルやリージョンでも英語で訓練を受けたい。→A) 希望するクラブがあれば、日本リージョンの中に英語カウンスルを設立する事も考えられる。
 - B) カウンスルやリージョンでは日本語で訓練を受けたい。→B) カウンスルでしっかりと日本語で訓練を受ければ、クラブでのレベルアップにもつながる。

従って、カウンスルかリージョンのどちらかの比重を軽くする。遠くのリージョンより、近くの出席しやすいカウンスルで、英語のワークショップも取り入れた、質の向上をめざす教育をして欲しい。そして、リージョン大会を簡素化する方法として、

例) 一日大会/二年に一度/ワークショップなし のことが考えられる。(小菅あけみ)

以上のように、各委員より積極的な提言がありました。したがって、委員会方針としては、今後問題点を2つにしぼり、より問題を分析整理してゆきたいと考えております。

- ①教育プログラムについて、全クラブの情報を集めて分析、企画案をまとめる。
- ②分割を含め日本リージョンの将来をより意義のある組織にしてゆくためのアンケートをとり会員の皆さんの意見を集約して、役員会に提言してゆくことを決議しております。

さいごになりましたが、私を含めて会員の半数以上の方々はITについてゆけないと不安感を持っています。実際問題として、ITCの運営にたずさわってみると、大変スピーディーにITを駆使して情報が流れている今、パソコンを使えないと役員にはなれないと考えている方も多いように思います。

しかし案ずるよりも産むがやすしです。パソコンの出来る方とよいコミュニケーションを持って、その能力を利用して頂くのも能力開発の一部とも考えられます。可能であれば自らパソコンにチャレンジしてみませんか? 恐れているは前進はありません。こう云う私が、まずチャレンジしてみます。 乞うご期待を!!



増設委員会

Extension Committee

「金沢・松山・東京に増設中！」

委員長 山崎真知

今期はリージョンが金沢(日本語)に、カウンスルNo. 4が松山(日本語)に、カウンスルNo. 8が東京(英語)に新しいクラブをと努力致しております。金沢は芽が出て、茎や葉が少し伸びて参りました。遠方にも拘わりませず多くの会員のご協力を得て、楽しい会合を2回(説明会と模擬例会)持つ事ができました。次回は4月8日(月)午後1時から参加者による模擬例会を予定致しておりますので、ITCのメンバーとしてご活躍いただくにふさわしい方を是非ご紹介戴き、しっかりとした茎や葉に成長させチャーターを迎えたいと思っております。

松山も東京も会員が主になって説明会から模擬例会へと、チャーターへ向けて着々と歩みが続いております。こちらにも是非ご紹介を戴き、よいクラブを増設できますようご協力お願い致します。より質の高いクラブが増設できますのもすべて皆様のご協力によるものです。どうぞ20周年を記念したクラブの増設にご協力戴きますよう心よりお願い申し上げます。



社会との繋がりをどのように広げていくかがITCの課題です。編集では2号にて、地域社会と継続して繋がりを持つクラブ、グループの情報をお寄せ下さるようお願いしました。今後の活動方針の参考になればと思いその中から3件をご紹介します。

姫路クラブ

2000年9月1日・2日に地域で開催された姫路市男女共同参画推進センター「イーグルひめじ」にてITCを紹介する。

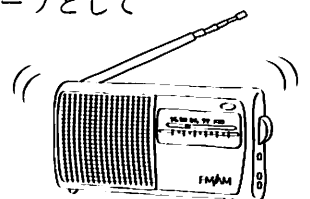
2000年10月19日姫路市提供、ラジオFM“GENKI”に役員3名が出演した。ITCの歴史・組織の説明・トレーニング方法・クラブの紹介等30分間のトーク番組に参加してITCの訓練の成果を充分に発揮した。

出雲クラブ

8期目を迎えた頃、その活動を広く外にも向けてみたいという意見が会員から出た。早速、市に持ちかけ、市の行事をクラブが手伝うようになった。文化行事の司会・受付・パネリスト等の役を会員が交代で努めた。今期は5件の依頼を受けた。市からのお礼はクラブの収益にしている。大きな会場で沢山の聴衆を前にしてのスピーチは、声の調子・姿勢・目線等とても勉強になる。臨機応変に対処するためには、あらかじめ勉強も必要である。ITCのPRとしてはこれ以上のものはない。会員増を期待している。今後も更に経験を積んで、地域のため、ITCのために向上をはかりたいと思う。

宝塚クラブ

FM宝塚に年一回のペースで、ITCの広報活動をしている。又、朗読グループとしても定期的(年2回、2ヶ月ずつ)に出演している。



第20回日本リージョン年次大会ご案内

Invitation to the 20th Japan Region Conference



園田 容子 長澤 久子

大会テーマ：「海の碧」（うみのあお）

Conference Theme : Sapphire Blue of the Sea

開催日：2002年6月10日(月) 11日(火) 12日(水)

場 所：神戸ポートピアホテル

大会コーディネーター 園田 容子

コ・コーディネーター 長澤 久子

日本リージョン、20回目の年次大会が、いよいよ1ヶ月半後に近づいて参りました。もう、大会への登録はお済ませでしょうか？ 今からでも遅くはありませんので、是非お申込下さい。今期は日本リージョン20周年の特別な大会です。1日目のセレブレーションパーティーに関しては16ページを是非ご覧戴きたいと思えます。2日目の教育セッションでは、通訳が付きます。また晩餐会では、20周年の式典とエンターテインメントを出席者全てにご堪能いただけますように、2機のスクリーンを用意致しております。3日目には記念プログラムとして、ITC名誉会員の高円宮妃久子殿下によるご講演、公式訪問者他の方々によるパネルディスカッション&フォーラムがありますが、皆様に楽しんでいただけるよう通訳イヤホンを無料でご用意しています。このように大会全てが20周年をお祝いする会となっておりますが、特にキット袋はその記念品でもあり、今期は「参加しない手はないでしょう」というほど素敵な会になることを保障いたします。ご出席いただきます方は、準備委員会からのお知らせとお願いのページも必ずご覧ください。大会でお会い出来ますことを楽しみにお待ちしております。

—日本リージョン大会への派遣員の皆様へ—

日本リージョン議会法規役員 盛田 純子

ご承知のように、来るリージョン大会の折り6月11日(火)午前9時より行なわれる派遣員説明会、及び6月11日・12日両日のビジネスの時間に、リージョン派遣員として出席していただくことになっています。

すでに各クラブで修正案について審議を終え、クラブとしての採決を持って出席されますが、場合によっては、他クラブより色々な意見が出され、その時点で自分の判断によって可否いずれかの採決をせねばならないこともあります。その時に迷わないように、自クラブ会員の意見をよく把握しておくこと、会則・常規をよく読んでおくこと、議事法マニュアルにある動議の種類やその手続きを復習しておくなどの準備をなさいませう、お勧めいたします。

当日は、楽な気持ちで、派遣員としてクラブを代表する喜びをもって、積極的に審議に参加し責任を果たされますよう願っております。



選挙委員会

Election Committee

「私たちの大切な一票です！」

リージョン大会への派遣員の皆様へ

委員長 成定 正子

2002年6月10日、11日、12日に開催されます第20回日本リージョン年次大会で次期リージョン役員及び指名委員(異なるカウンスルから1名ずつ選出)の選挙が行われます。

皆様ご存知のように、2001年の日本リージョン大会で日本リージョン会則第5条E項が修正されました。それに基づき本年度は選挙の仕方が変わる可能性があります。

詳しくは派遣員ブリーフィングでご説明いたします。

クラブで意見をまとめ、その結果を派遣員の皆様は投票して下さい。

投票についてのお知らせ

1. 投票は登録された派遣員によって6月11日(火曜日)の昼食時に行われます。昼食は必ず申し込んでください。手順はブリーフィングで説明致します。
2. 投票用紙は選挙委員会が当日用意致します。
3. 不在投票用紙はリージョンメールとしてホームページに掲載してあります。大会に一人も出席しないクラブのみ、会長の責任で委員長宛郵送してください。6月1日(土曜日)必着で二重封筒にてお願い致します。当日開封し、総数に加えます。
4. 日本リージョン会則第5条E項の選挙の項をよくお読みになって出席して下さい。

派遣員資格確認委員会

Credentials Committee

「リージョンとのパイプ役として」

委員長 小泉千恵子

派遣員の皆様は、クラブの代表者として大会に参加されます。大会には、必ず「信任状」をご持参下さい。6月11日(火)は、直接「トパーズ」前に行きキットを受け取り、派遣員の登録をして下さい。

大会2日目・3日目共に、まず信任状を派遣員資格確認デスクへ提示して登録を済ませ、クラブ名の付いた「たすき」を受け取り着用して下さい。「たすき」がないと派遣員席には座れません。

皆様の任務と時間・場所は下記の通りです。時間帯にご注意下さい。当日は、この頁をご持参下さい。

6月11日(火) 第2日目

- | | | |
|---------------------|---------------|--------------|
| 1. 派遣員資格の確認と登録 | 8:20 ~ 8:50 | 南館B1F「トパーズ」前 |
| 2. 派遣員への説明会に出席 | 9:00 ~ 9:45 | 南館B1F「トパーズ」 |
| 3. ビジネスに出席 | 10:00 ~ 12:00 | 「ポートピアホール」 |
| 4. リージョン役員及び指名委員の選挙 | 12:00 ~ 12:50 | |

南館B1F「カトレア・ライラック」

* 選挙は、昼食時に行われます。6月11日の昼食は必ず申し込んで下さい。

* 選挙終了後、「たすき」を所定の場所(部屋出口)へ返却して下さい。

6月12日(水) 第3日目

- | | | |
|---------------------|--------------|-------------|
| 1. 派遣員資格の確認と登録 | 8:20 ~ 8:50 | 1F「大輪田A」横通路 |
| * 場所は、大会2日目とは異なります。 | | |
| 2. ビジネスに出席 | 9:00 ~ 10:00 | 「ポートピアホール」 |

* ビジネス終了後、「たすき」を所定の場所(会場出口)へ返却して下さい。

運営研修会のお知らせ

1. CMT (Council Management Training)

日本リージョン次期会長 村上 令子

カウンスル運営研修会

6月10日(月)	12:00 ~ 12:45	昼食	大輪田A
	12:45 ~ 14:30	CMT	大輪田A

次年度のカウンスル役員、常任委員長を対象とした研修です。任務を正確に把握して活動が円滑に出来るように備えていただきます。

2. PEPI (Performance Enhancement Program) Phase 1

成果向上のためのプログラム フェイズ1

6月10日(月)	14:30 ~ 16:30	PEPI (phase1)	大輪田A
----------	---------------	-----------------	------

年次大会の公式訪問者 Irene Johnson ITC会長による研修で対象はCMT参加の役員常任委員長以外に参加希望者全員です。

内容は **the 9 “Influencing Strategies”** (9つの影響力有る戦術)です。

3. 評価

6月12日(水)	16:30 ~ 17:30	評価	カトレア・ライラック
----------	---------------	----	------------

公式訪問者によるリージョン新旧役員を対象にした年次大会の評価です。

4. PEPI (Performance Enhancement Program) Phase 2

6月12日(水)	17:30 ~ 18:30	PEPI (phase2)	カトレア・ライラック
----------	---------------	-----------------	------------

公式訪問者による次期リージョン役員を対象にした研修です。

5. PEPII (Performance Enhancement Program)

7月13日(土)	9:00 ~ 11:30	バハマ ナッソでの世界大会にて
----------	--------------	-----------------

ITCホームページPEPの紹介を参照して下さい。

・出席対象の方々には後日詳細をお知らせ致します。



リージョン大会での表彰について

日本リージョン第二副会長 柳川 公子

日本リージョン年次大会 (第三日目、6月12日) において下記の表彰を行ないます。

- ・フルメンバークラブ
- ・今期会員数が最も増えたカウンスル
- ・今期中に満20年の継続会員になられた方
- ・今期中に満30年の継続会員になられた方
- ・今期中に満35年の継続会員になられた方
- ・今期中に満40年の継続会員になられた方

各クラブで表彰対象の方を調べて、各カウンスル第二副会長までお知らせください。

詳細は、リージョンメールで各カウンスル、クラブ第二副会長へお知らせいたします。



第20期日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 20th Annual Conference Program Plan

神戸ポートピアホテル KOBE PORTOPIA HOTEL

6月10日(月) June 10th(Mon)

11:30~12:00	受付	Registration
12:00~12:45	昼食	Lunch
12:45~14:30	カウンスル運営研修会	Council Management Training
14:30~16:30	成果向上の為のプログラム 1	Performance Enhancement Program 1
19:00~21:00	セレブレーションパーティ	Celebration Party

6月11日(火) June 11th(Tues.)

08:20~08:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
08:30~09:45	登録受付	Registration
09:00~09:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	入場 開会式	Opening Ceremony
10:43	ビジネスセッション (News from ITC)	Business & News from ITC
12:10~13:00	昼食 選挙(派遣員)	Lunch & Election (Delegates)
13:00~14:50	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:50	選挙結果発表	Election Report
15:10~16:40	教育セッション(6部門)	Training Sessions (6 Parts)
17:30~18:00	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00	晩餐会開会	Opening
18:20~19:50	晩餐	Banquet
19:50~20:30	祝典	Commemoration
20:30~21:00	エンターテインメント	Entertainment
21:00	終了	Adjournment

6月12日(水) June 12th(Wed.)

08:20~08:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
08:30~08:55	登録受付	Registration
09:00~10:00	ビジネスセッション	Business Session
10:05~11:55	20周年記念プログラム	20 th Anniversary Memorial Program
12:00~13:00	昼食	Lunch
13:00~15:00	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:00~15:30	役員就任式	Installation
15:30~15:50	表彰	Awards
15:50~16:15	報告・案内	Reports
16:15	閉会	Adjournment
16:30~18:30	成果向上の為のプログラム 2	Performance Enhancement Program 2

* P E Pの終了時間が変更になっています。(太字部分)

* 派遣員登録の時間帯が記入されました。(太字部分)

20周年記念プログラムの概要とお知らせ！

プログラム・教育委員長 入江 笑子

☆☆ 高円宮妃久子殿下の御講演

世界大会の開会式における、高円宮妃久子殿下の格調高く、しかも優雅な魅力溢れるお話し振りに魅了された会員は多くいらっしゃると思います。ITC名誉会員としてご臨席賜る妃殿下の御講演で3日目・20周年記念プログラムが始まります。

☆☆ パネルディスカッション&フォーラム

Irene Johnson ITC会長、Jean Turner 元ITC会長、Wyn Bowler 前ITC議会議法規役員、3人のパネリストの意見を基に、理想のITC、これからのITCについて共に考え意見を交換し合ひましょう。20周年記念が次ぎのより良いステップのスタートとなります。



* 教育セッション内容一部変更のお知らせ

ワークショップ【F】「もっと知りたいITC」 大野三恵子リーダー
“ITCのなかのIT”についてはリージョン役員会からITCの情報を得るための「コンピューターの使い方ガイド」が会員の手元に届けられましたので、リージョン大会、ワークショップ【F】では取り上げることは中止と致します。
「もっと知りたいITC」では「会則と常規」「儀典とマナー」「役員会のあり方」等について、熟達メンバーと新しいメンバーが共に考え合う場としたいと思ひます。

* プログラム予定表(12ページ掲載)の変更

PEP1の終了時刻が16:30に変更になっています。
11日、12日両日 08:20～08:50 派遣員登録受付の時間帯が記入されました。



準備委員会からのお知らせとお願い

◆ 食事委員会

委員長 塚本 寿子

食事券は名札ケースに入れてお渡し致します。食事(昼食・晩餐会)の際には、名札を忘れずにご持参ください。

◆ 儀典委員会

委員長 市川 道子

(1) 入場行進について

カウンスル、クラブの各会長には、後日詳細をお知らせ致します。会長欠席の場合は、必ず代理の方を立ててください。この場合は、代理会員の氏名を5月18日までに秋山美代子委員(TEL/FAX 0798-72-0722)及び所属カウンスル会長に必ずお知らせください。

(2) 座席指定について

ビジネス等の指定座席についての詳細は後日お知らせします。

(3) 晩餐会の座席について

座席指定者(要職者、来賓)以外は会場入口に於いての籤で座席を決定いたします。

◆ 名札・リボン委員会

委員長 高山 敦子

- ★名札ケースは今期新しい形状のものに名札を入れて全員にご用意いたします。
- ★大会用の役職リボンはキットに入れてお渡し致します。終了後は受付にある回収箱に必ずお返しください。ご協力をお願い致します。

◆ ホスピタリティ委員会

委員長 奥村 紀子

皆様の憩いの場として、また待ち合わせ、打合せの場として南館地下1階サファイアルームをホスピタリティルームにしております。スケジュールの合間にどうぞお使いください。飲み物、茶菓子、事務用品、救急用品、裁縫道具等を用意いたしております。当日差し入れをいただきますことも大歓迎ですのでお待ちしております。右記クローズ時間外はオープンしています。

では大会期間中安堵と笑顔のこぼれる当ルームへ、ホットしにいらっしゃってください。

◆ インフォメーション委員会

委員長 仁熊 愛子

- ★インフォメーションデスクはホテル南館1F「大輪田の間」横、ホール手前です。わからないことなどありましたら、何でもお尋ねください。右記、クローズ時間外はオープンしています。

◆ 写真委員会

委員長 渡邊 博子

★ 晩餐会のテーブル写真は、プロのカメラマンが撮影いたします。各テーブルに用意した封筒に、住所・氏名を記入し、代金を入れてお申込みください。追ってご本人にお送り致します。

★ I T C 名誉会員高円宮妃久子殿下の写真撮影は指定のプロカメラマンのみが行います。

◆ 受付委員会

委員長 堀 容子

大会受付はホテル南館1階「大輪田の間」横、ホール手前で行います。

受付時間

< 6月11日(火) >

- ・開会前 8:30 ~ 9:45
- ・英語スピーチコンテスト 12:30 ~ 12:55
- ・晩餐会 17:30 ~ 18:00
- ・その他、下記クローズ時間外はオープンしています。

< 6月12日(水) >

- ・ビジネス前 8:30 ~ 08:55
- ・スピーチコンテスト前 12:30 ~ 12:55

◆ 準備委員会

委員長 園田 容子

★ ホスピタリティー、インフォメーション、受付のクローズ時間は原則として、

< 6月11日 >	10:00 ~ 12:00	(開会式・ビジネス)
	13:00 ~ 14:50	(スピーチコンテスト)
	15:10 ~ 16:50	(教育セッション)
< 6月12日 >	9:00 ~ 12:00	(ビジネス・プログラム)
	13:00 ~ 16:15	(スピーチコンテスト~閉会)

★ 会場であるポートピアホテルへ前もって荷物を発送される方は、

ポートピアホテル気付 ○△□子 宛て

(I T C 日本リージョン大会 ○月○日 宿泊

又は資料などなら、 I T C 日本リージョン大会 ○月○日 ○○の間使用 など)

上記のように明記してください。

★ その他、わからないことなどございましたら、いつでもご連絡ください

大会コーディネーター 園田容子

TEL & FAX : 0797-23-6082

メールアドレス : Yoko1108@gold.ocn.ne.jp



第20回日本リージョン年次大会

セレブレーションパーティー

— Something Blue —

2002年6月10日(月) 19:00~21:00

神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田の間

参加費：1000円

まず会報第2号19頁大会申込登録申込用紙のセレブレーションパーティーの欄に○印を入れて、参加申込をして下さい。そうすればこの楽しい宴に参加できます。

参加できる人も、できない人も是非ラッフル券をご購入ください。券の売上から豪華な賞品が用意されますと共に、今回初めての試みとして対外的な寄付金に当てられます。皆様方のご協力をお願い致します。ラッフル券は4枚1組1000円です。お一人で何組ご購入いただいても、何人かでおし合ってご購入いただいても結構です。ラッフル券1枚毎にあなたの氏名・住所・電話番号を記入し、パーティー会場にお持ちください。当日都合により出席出来ない会員は、誰かにラッフル券を託してください。券を預かった方は、代わりに賞品を受け取ってください。賞品の受け取りは当日限りと致します。

「海の碧」いっぱいの会場へ、何か1つブルーのもの(Something Blue)を身につけてご参加ください。何より会員への還元を主とし、会費(2000円)は半額補助となっていますので、お飲み物・おつまみをお楽しみください。2箇所にて設えられた演台ではカウンスルのパフォーマンスとラッフルの抽選が交互に行われます。

カウンスルタイム・・・各カウンスル10分間ずつの舞台は今大会ならではのもの！
どんな出し物が出てくるか、乞うご期待！ お見逃しなく！
ラッフルタイム・・・ラッフルの幸運をあじわってください！

特賞・・・サファイア・・・？

1等賞・・・お楽しみ！

2等賞・・・お楽しみ！

3等賞・・・お楽しみ！

会長賞・・・ぐんとお楽しみ！

神戸賞・・・神戸ならではの賞品です。

アイディア賞・・・歴代リージョン会長からの提供品です。

残念賞・・・末尾番号でちょっとしたものが当たります。

夕食後のひととき、久し振りの会員との再会に喜び、初めての会員との出会いに胸ときめかせ、親しい仲間との親睦に心ませ、様々な会員との会話を存分に楽しみましょう！

皆様のお越しを心よりお待ちしております。
セレブレーションパーティー委員会一同

事務局通信

事務局長 片桐 寛子

リージョン事務局では、資料・物品を取り扱っておりますが、会員の中には、ゆっくり手にとって内容をご覧になれない方もいらっしゃるのではないかと思います。ITCについて理解を深められ、また、お引き受けになった役割の参考になるものもいろいろあります。今回はそのご紹介をいたしましょう。

◎ 資料として取り扱ってはいませんが、マスターマニュアルがすべての基本になっていることは申すまでもありません。

ITCの組織について	<u>A 6</u> ・ITC会則、 <u>A 4</u> ・日本リージョン会則、 <u>C 80</u> ・創設者のメッセージ
ITC会員として	<u>B 1</u> ・資格認証課程、 <u>C 2</u> ・ITC用語、 <u>C 22</u> ・ファイルの方法
会合・議事法の参考に	<u>B 2</u> ・議事法マニュアル、 <u>C 3</u> ・議事運営手順ゲーム、 <u>C 30</u> ・議事運営手順についての基礎知識、 <u>C 32</u> ・1時間例会、 <u>EPC No. 3</u> ・議事法を識る会、 <u>EPC No. 4</u> ・ITCクラブ例会の手順
役員に役立つ資料	<u>B 3</u> ・クラブ役員マニュアル、 <u>B 9</u> ・カウンスル役員と委員会 マニュアルとプログラムの概略、 <u>B 26</u> ・役員と委員長の任務、 <u>C 26</u> ・議会議法規役員の任務と責務、 <u>EPC No. 1</u> ・役員会のあり方、 <u>EPC No. 2</u> ・クラブ議事録のサンプル、 <u>EPC No. 6</u> ・会計マニュアル 質疑応答集
役割の参考に	<u>B 6</u> ・カウンスル会合、ホステスクラブ便覧、 <u>B 7</u> ・儀典マニュアル、 <u>B 10</u> ・スピーチコンテスト規則と任務、 <u>C 39</u> ・スピーチコンテスト必要書類一式、 <u>B 11</u> ・役員就任式、 <u>B 18</u> ・広告宣伝のための手引き、 <u>B 19</u> ・教育マニュアル付録(評価)、 <u>C 10</u> ・PREM(プレミアム)プロジェクトその実行方法、 <u>C 17</u> ・ニュースレターとその作成、 <u>C 18</u> ・カウンスルサービスビューロー運営と組織、 <u>C 19</u> ・カウンスルコーラー機構と運営、 <u>C 47</u> ・クラブ教育—会計監査、 <u>C 48</u> ・新入会員導入式、 <u>C 56</u> ・広報活動とその目標、 <u>C 63</u> ・予算—その方法、 <u>C 67</u> ・基本的な評価訓練、 <u>C 75</u> ・スピーチコンテスト委員会の役割、 <u>C 78</u> ・資格認証課程(質疑応答)

以上、主に役職・ビジネスを中心としての参考資料をご紹介しましたが、このほかにも、クラブ増設やプログラム準備のための資料も揃っています。

一度、ゆっくり資料目録をご覧になって、ご自身のITC図書館の充実をはかられてはいかがでしょうか。クラブとして1部お持ちになって、役割ごとに引き継がれるのもいいアイデアですよ。



Hello!

日本リージョン役員会だより

20周年記念年次大会をお楽しみに！

今期もリージョン大会の開催が近づいてきました。第20回目の節目に当たる記念の大会ですので、いつもとは少し趣を違えております。

I T Cレベルの名誉会員でいらっしゃる高円宮妃久子殿下は、この度、近隣の日本リージョンが20年の記念の大会を開催するにあたり、1泊2日のご予定で大会にご臨席でいらっしゃいます。妃殿下には、6月11日の午前10時の開会式にご臨席になられ、ご挨拶を頂いた後、引き続きビジネスをお聞き下さいます。英語のスピーチコンテストにもご臨席になられ、晚餐会には私共とご一緒に祝典やエンターテイメントをお楽しみになられます。

6月12日の午前10時からのご講演頂きます。

世界大会のご挨拶は英語でしたが、今度のご講演は日本語でお願い致しました。

さて、主な予定は、

第1日目（6月10日）はCMT、PEPです。

夜はお楽しみのセレブレーションパーティです。セレブレーションパーティではラッフルが行われ、なにか素敵な物があたります！

第2日目（6月11日）は、開会式とビジネス、英語のスピーチコンテスト、ワークショップです。

6種類のワークショップは、国際レベルの元会長と前議会法規役員による議事法と評価のワークショップがありますが、両方共に通訳がついております。他に、外部講師によるワークショップが2種、会員によるワークショップが2種です。

夜は記念祝典を含む晚餐会です。素敵なエンターテイメントをお楽しみ頂きます。

第3日目（6月12日）は、ビジネスに続き、高円宮妃久子殿下のご講演です。お題は未定です。

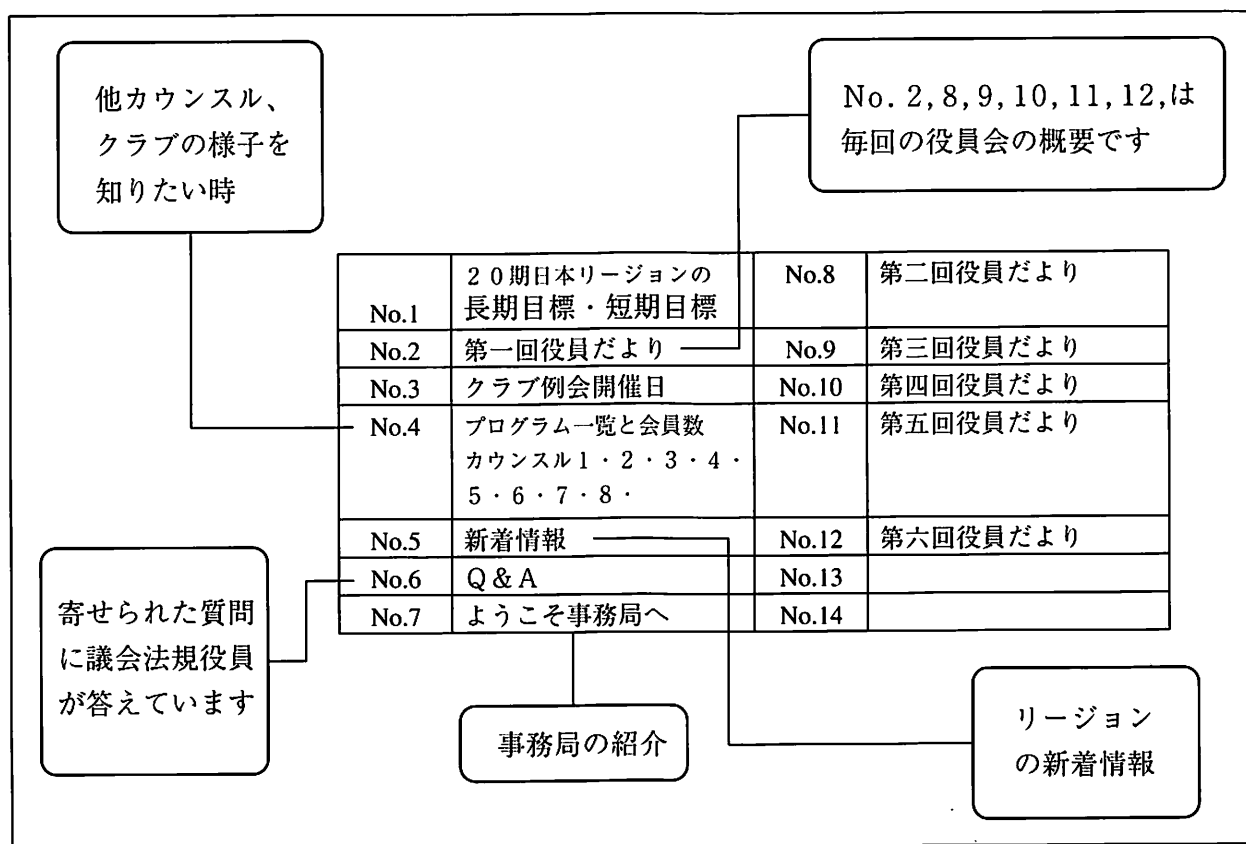
当日をお楽しみになさって下さい。

ご講演に続き、公式訪問者と元国際役員を交えたパネルディスカッションとフォーラムは、ビジネス会場であるポートピアホールで開催されます。パネリストは全て英語ですが、皆様はイヤホン（無料貸出し予定）を通して専門家の通訳による日本語訳をお聞き下さい。日本語のスピーチコンテストの次に、今期は役員就任式が最後のシーンとなって、大会は幕を閉じてまいります。

お 知 ら せ

- ☆ 1997年に初めてリージョン事務局に導入されたコンピューターは、今日までよく働いてくれましたが、そろそろ機種も古くなり、事務局の事務にも支障が出てまいりましたので、この度新品を購入し、取り替えましたことをご報告致します。
- ☆ リージョン事務局資料のうち、B-1の「資格認証マニュアル(日本語版)」の在庫がなくなった為、この度、本部から発行されている最新版に内容を揃え、新しく装丁しなおして改訂版として発刊致しました。ご利用下さい。

リージョンホームページの役員会だよりには役員会からの色々な情報が入っています。公式リージョンホームページ表紙左横の表の下から2段目「役員会だより」をクリックしてみてください。「役員会だより」のページが出てきます。その画面を下へおろしていく(スクロールする)と、下図のような画面が出てきます。ここで、知りたい部門をクリックしてみてください。



◎ 「ITの利用の仕方、ITC本部ホームページの開き方など」の資料を作成し、各クラブへ配布しましたのでご利用ください。

世界大会へのお誘い

— さあ、行ってみましょう 見知らぬ島へ! —



日本リージョン国際交流委員長 八日市屋多栄子

2002年の世界大会は7月13日(土)から4日間バハマ連邦の首都ナッソーで開かれる。ここはマイアミから飛行機で約1時間で到着出来る位置にある。

バハマは広辞苑によると西インド諸島北部の群島からなる国家で、1973年英国より独立、面積1万4千平方キロメートル、1995年の人口は27万8千人、主要産業は観光である。私がバハマのことについて知ったのは、コンベンションで国別の、登録者数の発表の際であった。昨年のアナハイム世界大会では4人の会員が出席されており、バハマのパンフレットを頂いた。風光明媚なところで、楽園の島である。青緑色の海、広い白く続いた砂浜、異国情緒あふれる花々は大変魅惑的である。大会前後には英国植民地時代からの名所旧跡巡りをしたり、暖かい大西洋の海風にふかれたり、泳いだりして、ゆっくり過ごしてみたいものである。観光が主産業の国らしく旅行者が買い物をするのには税金はかからない。世界級のショッピングセンターがあるそうで、買い物も楽しめる。

日本からナッソーへ行くには中南米に強いアメリカン航空が一番乗り継ぎがよく、値段も安いでしょうとのことである。成田から毎日1便出ているが、7月のフライトスケジュール、値段は未定である。旅の相談、予約をH I Sにされる場合の連絡先は次の通りです。

H I S 関西営業本部 TEL 06-6456-3401

関東営業本部 TEL 03-5360-4880

I T C世界大会はナッソーマリオットホテルで開かれる。743のゲストルーム124のスイートルームのほとんどからは海が見下ろせるそうである。オープニングの式典はホテル内のレインフォレストシアターで行われるが、この劇場は日没と共にライトアップするそうである。私はニュージーランド大会の様なローカルカラーあふれたものを期待している。

13日のウエルカムパーティは夜の10時まで、14、15、16日は朝8時から夜10時頃まで。世界大会のスケジュール等は2002年3月号のI T Cコミュニケーターに掲載(ホームページからダウンロード可能)。翻訳は日本リージョンホームページに掲載。

注意すべき点は5月31日以降の登録は20ドル高くなり、7月1日以降は現地にて支払いとなる。ホテルの予約締切は6月11日と例年よりかなり早くなっている。その他大会についてのご質問は当委員長までおたずね下さい。

大会に出席する方で所属クラブのデリゲートになっていない方は、この際ぜひ他国のクラブデリゲートをお受け下さい。「バハマであなたの声をきいてもらいましょう。世界のどこか他のクラブのデリゲートになる機会を持ちましょう。コンベンションに出席しないクラブはあなたのクラブを代表するHAWCデリゲートを頼みましょう。」とHAWCコーディネーター Sacha Mulderは言っています。申し込みたい人、質問等のある方はメールで(sacha.mulder@planet.nl)へ連絡下さい。

コンベンション出席者は八日市屋までメール(yokaichi@suma.kobe-wu.ac.jp)、またはファックス(078-997-7198)でカウンスル名、クラブ名、氏名をご連絡下さい。



**The 21st Century
a Fresh Challenge**